



## ～「ガセリ菌SP株」特集～

雪印メグミルクは、お客様一人ひとりの声に耳を傾け、その声を大切に活かしていくことによって、おいしく安全な商品をお届けし、お客様に満足いただけるようサービスの向上に努めてまいります。そしてお客様センターは、「豊かな食生活」や「健康づくり」に貢献できるような、お客様とのコミュニケーションの窓口でありたいと考えております。

## 「ガセリ菌SP株」は、雪印メグミルク独自の乳酸菌です。

ガセリ菌は、乳酸菌の一種でヒトの腸内に棲む善玉菌として知られています。雪印メグミルクは、このガセリ菌を長年研究し、その中から特に私たちの体によいはたらきをする菌株を選びました。それが「ガセリ菌SP株」です。

### 聞いてみたいな！

「ガセリ菌SP株」の「株」って何ですか？

“SP”ってどんな意味？

乳酸菌研究の歴史を教えてください。

#### ●「株」とは、菌をもっとも細かく分類したときの名前です。

“乳酸菌>ガセリ菌>「ガセリ菌SP株」”の順番に分類が細かくなります。

菌の“株”とは、その菌を分類する上での、最も細かい単位を表す名前です。人間に例えると、一族や家系という言葉に似ているかも知れませんね。同じガセリ菌でも、“株”が違えば、その能力も異なります。数ある菌の中から、いかに健康効果の高い優秀な“株”を探し出すかが、乳酸菌研究の基本になるのです。

#### ●「スノー・プロバイオティクス＝Snow Probiotics」のイニシャルです。

プロバイオティクスとは、健康に良いはたらきをする生きた微生物のこと。雪印メグミルクが選んだガセリ菌の株が、多くの皆さまの健康づくりに役立てていただけるように、思いを込めて名づけました。

#### ●前身の雪印乳業時代から80年以上の歴史があります。

私たちの乳酸菌研究の歴史は1930年代までさかのぼります。その後1980年代になると、腸内乳酸菌による整腸作用研究が盛んになり、1990年代には、ガセリ菌の健康効果についての研究が始まりました。そして2000年代以降は、整腸効果以外の研究へと幅を広げています。

## 「ガセリ菌SP株」は、どんな乳酸菌なんですか？

#### ●小腸に主に存在しています。

小腸は、食物を消化し必要な栄養を吸収する働きを担います。気になる脂肪の吸収にも関わり、さらに近年では免疫・代謝などにも重要な役割を果たしていることが次々と解明されてきました。ガセリ菌はこの小腸に主に存在しています。また、日本人の腸内から多く見つかっています。このガセリ菌の特徴に着目し、選ばれたのが「ガセリ菌SP株」です。

#### ●生きたまま腸まで届き、長くとどまります。

「ガセリ菌SP株」は胃酸など消化液の影響を受けにくく、生きたまま腸まで届く乳酸菌です。また「ガセリ菌SP株」は腸内に長く留まる特徴が確認されています。※2001年、経口摂取した「ガセリ菌SP株」がヒト腸管内で定住することを示す論文が、発表されました。

#### ●内臓脂肪を減らすのを助けます。

「ガセリ菌SP株」の内臓脂肪を減らすのを助ける機能は科学的に実証されています。雪印メグミルクは、「ガセリ菌SP株」の機能を科学的に検証するために、成人を対象としたヒト試験を行いました。その結果、「ガセリ菌SP株」入りヨーグルトを摂取したグループでは、摂取しないグループに比べて内臓脂肪の有意な減少が認められました。

# 「ガセリ菌SP株」の研究で確かめられたはたらき

雪印メグミルクでは、「ガセリ菌SP株」について多くの研究を進めてきました。その中から、今までに論文として発表されたはたらきのいくつかをご紹介します。

## ヒト試験で、「ガセリ菌SP株」による脂質排出作用を確認しました。

これまでの研究により、「ガセリ菌SP株」には内臓脂肪低減効果があることが、ヒト試験により確認されています。また、そのメカニズムの一つとして「ガセリ菌SP株」の脂質吸収抑制作用が関与することが分かっています。雪印メグミルクでは、「ガセリ菌SP株」摂取による糞便への脂質排出作用についてヒト試験による検証を行いました。その結果「ガセリ菌SP株」には、脂質の吸収を抑制し体外へ排出する働きがあることが分かりました。



！食事からとった脂質を体内に吸収させずに排出させてしまいます。

## 「ガセリ菌SP株」による抗肥満作用のメカニズムを解明しました。

今までの研究から、過剰な脂質吸収と内臓脂肪組織の炎症が内臓脂肪蓄積の要因のひとつとなることが分かっています。雪印メグミルクが「ガセリ菌SP株」の内臓脂肪低減のメカニズムを調べたところ「脂質に働きかけて脂肪酸への分解および吸収を抑制すること」、および「腸管バリア機能を保護し、炎症物質の流入を抑制すること」の二つの作用により、脂肪蓄積と内臓脂肪組織の炎症を抑制することが分かりました。



！脂質の分解・吸収を抑制  
！腸管のバリア機能の保護

## 「ガセリ菌SP株」の摂取によりインフルエンザウイルスに対する防御機能が高まることをヒト試験で確認しました。

「ガセリ菌SP株」の摂取により、健常な成人へのインフルエンザワクチン接種後のインフルエンザウイルスに対する特異的な抗体産生が促進されること、また、免疫の指標であるNK細胞活性等が向上することを確認しました。具体的には、「ガセリ菌SP株」は、ワクチン接種後のインフルエンザA型H1N1や同B型に対する抗体価を有意に向上させました(獲得免疫系の増強効果)。また、「ガセリ菌SP株」の摂取により、NK細胞活性の変化量が有意に高い値を示しました(自然免疫系の増強効果)。以上の結果から、「ガセリ菌SP株」の摂取は、獲得免疫系と自然免疫系の両方を増強することで生体防御機能を高めることが示唆されました。

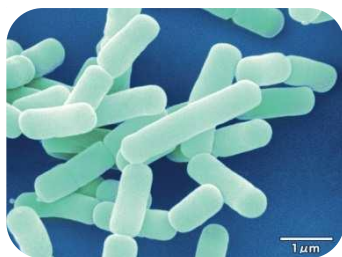
## 2つの免疫システムを増強しました

### ●自然免疫系

異物にただちに反応するために生体に、先天的に備わっている免疫システム。

この試験で確認された「ガセリ菌SP株」の効果

「ガセリ菌SP株」摂取により、摂取開始時から7週間後のNK細胞活性の変化量が、非摂取群に比べ有意に高い値を示しました。



「ガセリ菌SP株」

### ●獲得免疫系

異物を記憶して、その攻撃方法を習得する免疫システム(ワクチン接種等)。

この試験で確認された「ガセリ菌SP株」の効果

「ガセリ菌SP株」摂取により、インフルエンザワクチン接種後のA型H1N1やB型に対する抗体価が、非摂取群に比べて有意に高い値を示しました。

●このページでご紹介した「ガセリ菌SP株」のはたらきは、雪印メグミルクが今までに発表したニュースリリースをもとにしています。

詳しくお知りになりたい方は、雪印メグミルクホームページに掲載されております「学会発表リリース」をご覧ください。 <http://www.meg-snow.com/news/society/>

●「わたしたちのおなかに相性のよい善玉菌のお話」という小冊子を差し上げます。ご希望の方は、雪印メグミルクお客様センターにご連絡ください。

0120-301-369(9:00~19:00年中無休)



雪印メグミルクサイエンス研究所

制作: 雪印メグミルク株式会社 お客様センター (Vol.18 発行18.12)

この内容に関するお問い合わせは0120-301-369(9:00~19:00年中無休)までお寄せください。